



# 授 業 計 画

平 成 2 3 年 度



**福島学院大学短期大学部**  
**専攻科 保育専攻第二部**  
**(福島駅前キャンパス)**

## 平成 23 年度 専攻科保育専攻第二部 目次

専攻科保育専攻第二部の教育	1～2
「音楽療法概論」	3～4
「音楽療法演習Ⅰ」	5～6
「音楽療法演習Ⅱ」	7～8
「身体表現及び即興演奏法Ⅰ」	9～10
「身体表現及び即興演奏法Ⅱ」	11～12
「器楽活用法Ⅰ」	13～14
「器楽活用法Ⅱ」	15～16
「音楽療法実習」	17～18
「歌曲演習Ⅰ」	19～20
「歌曲演習Ⅱ」	21～22
「音楽と心理」	23～24
「環境音楽」	25～26
「障害児保育」	27～28
「障害児の心理」	29～30
「障害者の心理」	31～32
「障害者福祉論（メディア）」	33～35
「障害者福祉論」	36～37
「老人福祉論」	38～39
「医学概論（メディア）」	40～43
「医学概論」	44～46
「精神保健」	47～49
「課題研究」	50～51

## 専攻科保育専攻第二部の教育

### 1. 専攻科保育専攻第二部の教育目標

音楽の持つ機能を活用して、心身に障害や病気を持つ人々の症状の回復、身体機能の改善を図り、生活の質の向上を図れる人材を養成します。

### 2. 専攻科保育専攻第二部の学生の努力目標

- (1) 本学の学是である“真心こそすべてのすべて”の精神にもとづいて、常に人間尊重と自立、人間愛、思いやりの精神を身につけます。そして常に相手の立場に立ち、セッションができるような、豊かな心を持ち続けます。
- (2) 常に豊かな人間性と感性を身につけ、幅広い教養を持ち、広い視野に立ち、物事を正しく判断し、実践・評価できる能力を身につけます。理論と実践の両面から幅広い視野に立って、音楽療法を学びます。
- (3) 実践に基づく研究心と探究心を常に持ち、学問に取り組みます。  
音楽療法に必要な、音楽以外の、医学、心理学、教育学、福祉学の分野にも積極的に取り組みます。

### 3. 専攻科保育専攻第二部学生に求められるもの

子どもから高齢者に至る年代まで、その障害の種類も、肢体不自由児、知的障害児（者）、自閉症児、ADHD、LD、被虐待児、認知症、アルツハイマー、ホスピスケア、PTSD等様々です。

学生は、それらの各対象者への正しい知識を持ち、音楽を通して接近を図り、心の解放や機能の改善ができる音楽療法の実践者となるための努力が求められます。

## 4. 教育課程・内容

### (1) 教育課程について

	授業科目	講義・ 演習・ 実習の別	時期	単位数		備考
				必修	選択	
開 講 科 目	音楽療法概論	講義	前期	2		
	音楽療法演習Ⅰ	演習	前期	2		
	音楽療法演習Ⅱ	演習	後期	2		
	身体表現及び即興演奏法Ⅰ	演習	前期	2		
	身体表現及び即興演奏法Ⅱ	演習	後期		2	
	器楽活用法Ⅰ	演習	前期	2		
	器楽活用法Ⅱ	演習	後期		2	
	音楽療法実習	実習	後期	2		
	歌曲演習Ⅰ	演習	前期		2	
	歌曲演習Ⅱ	演習	後期		2	
	音楽と心理	演習	後期		2	
	環境音楽	演習	前期		2	
福祉心理学科での履修科目等	障害児保育	講義	後期		2	注2
	障害児の心理	講義	前期		2	注2
	障害者の心理	講義	後期		2	注2
	障害者福祉論	講義	後期		2	注1・注2
	老人福祉論	講義	後期		2	注2
	医学概論	講義	後期		2	注1・注2
	精神保健	講義	前期		2	注2
	課題研究		通年		2	注3

\*備考欄にある注1の中の「障害者福祉論」「医学概論」についてはメディアを利用した教室外履修授業科目です。

\*また注2の科目「障害児保育」「障害児の心理」「障害者の心理」「障害者福祉論」「老人福祉論」「医学概論」「精神保健」については福祉心理学科及び保育科第一部の科目履修をもって充当することを認めています。

\*注3の課題研究は、課題研究レポートの提出により評価します。

## □□□音楽療法概論□□□

授業形態 講義（オムニバス）  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 必修

非常勤講師 とお やま ぶん きち  
**遠山文吉**

（東京芸術大学招聘教授・日本音楽療法学会評議員・  
 うつのみや音楽療法研究会会長）

非常勤講師 たか はし たきこ  
**高橋多喜子**

（淑徳大学教授・医学博士・日本音楽療法学会理事）

### 1. 授業概要

音楽療法全般にわたる基本的な事柄について検討する。音楽療法の概念、歴史、対象を説明するとともに、心身障害児（者）や高齢者に対する音楽療法に焦点をあてて、対象者の理解、目標設定、音楽療法の組み立て方、扱われる音楽活動（歌唱、楽器、身体表現等）、記録、評価等について、VTR等の視聴覚教材を用いながら、音楽療法概論を教授する。

### 2. 目標

音楽療法とは何か、どのように進めるのか等、音楽療法に関する基礎知識について最も基本となることを学ぶ。

### 3. 授業内容

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	〈音楽療法概論〉 音楽療法の歴史、定義、対象 (高橋①)	資料、DVD視聴	高橋著参考書の音楽療法の歴史、定義、対象を読んでおくこと
2	・音楽療法の効果 ・音楽聴取の効果と実際にPomsで測定する (高橋②)	資料（文献）	高橋著参考書の音楽療法の効果について読んでおくこと
3	・さまざまな音楽療法分野での効果 ・音楽療法士になるために ・音楽療法士の資質、倫理学 (高橋③)	資料	高橋著参考書の音楽療法の倫理学について読んでおくこと
4	〈高齢者の音楽療法〉 高齢者とは（老化について） (高橋④)	資料	高橋著参考書の高齢者の老化について読んでおくこと
5	認知症について 高齢者の音楽療法（理論と実践）Ⅰ (高橋⑤)	資料	高橋著参考書の認知症について読んでおくこと
6	高齢者の音楽療法（理論と実践）Ⅱ 認知症予防のための音楽療法（確認テスト） (高橋⑥)		高橋著参考書の認知症予防のための音楽療法について読んでおくこと

7	心身に障害のある子どもたち（障害の種類、教育等）について （遠山①）	パワーポイント VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）の心身に障害のある子どもたちについて読んでおくこと
8	子どもの音楽療法の概要、ジュリエット・アルヴァン先生からの学び （遠山②）	パワーポイント VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）のジュリエット・アルヴァン先生の部分について読んでおくこと
9	音楽の機能、音楽の特性について （遠山③）	パワーポイント VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）の音楽の機能について読んでおくこと
10	音楽療法計画、進行のプロセス 小集団音楽療法のVTR視聴 （遠山④）	資料、VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）の音楽療法計画、集団行動のプロセスについて読んでおくこと
11	個人音楽療法と集団音楽療法について（個人音楽療法に視点を当てて） （遠山⑤）	パワーポイント VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）の個人音楽療法と集団音楽療法について読んでおくこと
12	セッションを進める際の諸技術（集団音楽療法に視点を当てて） （遠山⑥）	パワーポイント VTR（VHS）	教科書（遠山の著書）のセッションを進める諸技術について読んでおくこと
13	音楽療法で使う楽器について （遠山⑦）	資料、各種楽器	教科書（遠山の著書）の音楽量で使う楽器について読んでおくこと
14	音、音楽に関わる子どもたちから学ぶ （遠山⑧）	カセットテープレコーダー、CD、各種楽器	教科書（遠山の著書）の「音楽に関わる子どもたちから学ぶ」について読んでおくこと
15	音楽療法に取り組む際の心構え、配慮事項等 （遠山⑨）	パワーポイント	教科書（遠山の著書）の音楽療法に取り組む心構えについて読んでおくこと

#### 4. 評価方法

- 出席状況20%（6回以上の欠席は単位を認定しない）
- 授業への参加態度30%（積極的に発言および意欲がない時には、1回につき1点減点する）
- テストおよびレポート提出50%

#### 5. 教科書

書名 『知的障害のある子どもへの音楽療法  
～子どもを生き生きさせる音楽の力～』  
著者名 遠山文吉  
発行所 明治図書  
価格 2,415円

#### 6. 参考書

書名 『音楽療法』	書名 『高齢者のための実践音楽療法』
著者名 高橋多喜子	著者名 高橋多喜子
発行所 金芳堂	発行所 中央法規出版
価格 1,890円	価格 2,310円

## □□□音楽療法演習Ⅰ□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 必修

教授 <sup>さ</sup> <sup>とう</sup> <sup>あつ</sup> <sup>こ</sup>  
 佐藤敦子  
 (日本音楽療法学会認定 音楽療法士)

### 1. 授業概要

音楽療法の実践方法に関する基礎と技術技能及び指導法について学習する。

### 2. 目 標

障害種別、形態別、年齢別を踏まえ、音とからだ（心と身体）の関連を視野に入れた実践方法を学ぶ。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション 履修者の確認等	ガイダンス	音楽療法の定義、対象者について調べておくこと
2	音楽療法とは何か	プリント配布	音楽療法の意義について調べておくこと
3	音楽療法の実践（楽器）	演習	音楽療法で使用する楽器について調べておくこと
4	音楽療法の実践（楽器）	演習	音楽療法で使用する民族楽器について調べておくこと
5	ハンドベル トーンチャイム	演習	ハンドベル、トーンチャイムについて奏法を学んでおくこと
6	ハンドベル トーンチャイム	演習	ハンドベル、トーンチャイムについての奏法を学んでおくこと
7	音楽療法の実践（歌唱）	プリント配布	配付された音楽療法で使用する子どもの歌を練習しておくこと
8	音楽療法の実践（歌唱）	プリント配布	配付された音楽療法で使用する子どもの歌を練習しておくこと
9	音楽療法の実践	ゲストスピーカーによる講義	授業で習った曲について復習しておくこと
10	ハンドベル トーンチャイム	演習	ハンドベルやトーンチャイムを使用できるようにしておくこと

11	音楽療法の講義	ゲストスピーカーによる講義	授業で習った脳の仕組み、脳と言葉のしくみについて復習すること
12	音楽療法の実践（歌唱）	演習	授業で配付された高齢者の歌について復習すること
13	音楽療法の実践（楽器）	演習	音楽療法で使用する楽器の即興演奏ができるようにしておくこと
14	個人またはグループ発表		個人及びグループ発表ができるようにしておくこと
15	まとめ（個人発表）		

#### 4. 評価方法

- ・グループまたは個人発表50%
- ・授業への参加意欲・参加態度30%（積極的に歌唱しなかったり、楽器演奏しない者には1回につき1点減点）
- ・出席状況20%（6回以上欠席した場合は単位を認定しない）

#### 5. 教科書

その都度プリント配布

#### 6. その他

ゲストスピーカーの都合により内容を変更することがある。

## □□□音楽療法演習Ⅱ□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 必修

教授 さとうあつこ  
 佐藤敦子  
 (日本音楽療法学会認定 音楽療法士)

### 1. 授業概要

音楽療法の実践方法に関する基礎と技術技能及び指導法について学習する。

### 2. 目 標

障害種別、形態別、年齢別また障害のみではなく、リラクゼーションを踏まえた、音とからだ（心と身体）の関連を視野に入れた実践方法を学ぶ。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション 履修者の確認等	ガイダンス	音楽療法の効果について調べておくこと
2	音楽療法の実践	ゲストスピーカーによる講義	コダーイの音楽について調べておくこと
3	音楽療法演習Ⅰの復習 (VTR視聴)	プリント配布	障害児への音楽療法について調べておくこと
4	音楽療法実習に備えて、各自の内容を決める。 (実習先の対象者に合わせた内容を考える。)	演習	音楽療法のセッション方法について、学習しておくこと
5	音楽療法実習に備えて、各自の内容を決める。 (実習先の対象者に合わせた内容を考える。)	演習	対象者にあわせた音楽療法のセッションができるようにする
6	音楽療法の実践（歌唱）	演習	実習先で行う歌唱指導法について学習しておく
7	音楽療法の実践（歌唱）	プリント配布	配付されたプリントの歌を自学学習しておくこと
8	音楽療法の講義	ゲストスピーカーによる	脳の仕組み、アルツハイマー、認知症、脳血栓等について復習しておくこと
9	音楽療法の実践（楽器）	プリント配布	配付されたプリントの曲について楽器で演奏できるようにしておくこと

10	音楽療法の実践（楽器）	プリント配布	楽器での即興演奏ができるようにしておくこと
11	音楽療法の実践（動き）	演習	音楽に合わせてムーブメントができるようにしておくこと
12	音楽療法の実践（動き）	演習	音楽に合わせて身体表現をしながら歌えるようにしておくこと
13	音楽療法の実践（動き）	演習	音楽に合わせて身体表現をしながら歌えるようにしておくこと
14	グループまたは個人発表	演習	実習反省会に向けてセッション発表ができるようにしておくこと
15	まとめ（個人発表）		

#### 4. 評価方法

- ・グループまたは個人発表50%
- ・授業への参加意欲・参加態度30%（積極的に歌唱しなかったり、楽器演奏しない者には1回につき1点減点）
- ・出席状況20%（6回以上欠席した場合は単位を認定しない）

#### 5. 教科書

その都度プリント配布

#### 6. その他

ゲストスピーカーの都合により内容を変更することがある。

## □□□身体表現及び即興演奏法 I □□□

授業形態 演習（オムニバス）  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 必修

非常勤講師 しま づ たけ ひと  
嶋 津 武 仁  
 （福島大学教授）

非常勤講師 さ とう かおり  
佐 藤 香  
 （フィジカルムーブメント専門学校校長）

### 1. 授業概要

音楽の基礎的知識を理解した上で、鍵盤楽器（シンセサイザー）を用いて、コードネーム奏法を習得し、それに基づいて即興演奏や音楽知覚、理解能力を養う。（嶋津）  
 身体表現能力の向上を深め、個性の伸展、自主創造の学習を体得し、表現性を学ぶ。（佐藤）

### 2. 目 標

コードネームを理解し、それを鍵盤楽器による即興演奏で用い得る能力の育成。またその上で音楽への幅広い理解力を養う。作譜能力も併せて養う。（嶋津）  
 表現力の養成と表現技術を習得し、創作の力を養い、動きと表現方法を習得する。（佐藤）

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	音楽の基礎 (嶋津①)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし電源を入れる。	復習。キーボード（鍵盤楽器）でコードネームを弾けるようにしておくこと
2	コードネームとは (嶋津②)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし電源を入れる。	復習。キーボード（鍵盤楽器）でコードネームを弾けるようにしておくこと
3	正しい姿勢を学ぶ ① 脊柱のアライメント ② 下肢のアライメント ③ 足のアライメント (佐藤①)	演習	正しいアライメント法を身体で表現出来るよう復習してくる。
4	コードネームの実例 1 (嶋津③)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし電源を入れる。	復習。キーボード（鍵盤楽器）でコードネームを弾けるようにしておくこと
5	正しい身体の動かし方を学ぶ (伸ばす、ひねる、まわす) ① 上肢の動き ② 下肢の動き (佐藤②)	演習	正しい身体の動かし方の手順を覚えてくる。
6	短調のコードネーム (嶋津④)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし電源を入れる。	復習。マイナーコードネームが弾けるようにしておくこと

7	減三和音と増三和音のコードネーム (嶋津⑤)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし電源を入れる。	復習。減三和音と増三和音のコードネームが弾けるようにしておくこと
8	リズムの取り方を学ぶ(4ビート) (伝える、合わせる、感じる) ①Upのリズム ②ダウンのリズム (佐藤③)	演習	Upのリズム、ダウンのリズムを理解、復習してくる。
9	コードネームの実例2(短調) (嶋津⑥)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、電源を入れておく。	復習。マイナーコードネームが弾けるようにしておくこと
10	移調、転調、セブンスコード (嶋津⑦)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、電源を入れておく。	復習。セブンスのコードネームが弾けるようにしておくこと
11	基本となるステップを学ぶ ①下肢を中心としたステップ (佐藤④)	演習	各種ステップの名称と動きを覚えてくる。
12	コードネームによる即興演奏 (嶋津⑧)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、電源を入れておく。	復習。授業内に取り扱ったコードネームで即興演奏できるようにしておくこと
13	リズムの取り方、基本となるステップ (佐藤⑤)	演習	基本となるステップの復習をしておくこと
14	楽譜の書き方、旋律の作り方 (嶋津)	プリント・五線紙使用。キーボードを授業前にセットし、電源を入れておく。	復習。授業内に取り扱った曲について自学学習しておくこと。
15	多様な音楽の世界 (嶋津)	DVD・VHS(教員作成) プロジェクター使用	コードネームでの即興演奏ができるようにしておくこと

#### 4. 評価方法

- 実技テスト(レポート)および期末試験の点数50%
- ミニテスト 30%
- 出席状況・授業への参加態度 20%(積極的・意欲的に授業に参加しない者については、1回につき1点減点)

#### 5. 教科書

教員作成による資料を教材に使用

#### 6. 参考書

なし

## □□□身体表現及び即興演奏法Ⅱ□□□

授業形態 演習（オムニバス）  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

非常勤講師 しま づ たけ ひと  
嶋 津 武 仁  
 （福島大学教授）

非常勤講師 さ とう かおり  
佐 藤 香  
 （フィジカルムーブメント専門学校校長）

### 1. 授業概要

前期「身体表現及び即興演奏法Ⅰ」で習得したコードネームによる伴奏付けに和声と対位法による技術を身につけ、より豊かな即興演奏を行う能力を身につけるとともに、楽譜を書き、読む能力を養う。（嶋津）

身体表現能力の向上を深め、個性の伸展、自主創造の学習を体得し、表現性を学ぶ。

（佐藤）

### 2. 目 標

音楽の基本としての楽典を習得および鍵盤楽器による和声、即興演奏を行い得る能力の育成。また本授業を通じて、即興することの意味を考える。（嶋津）

表現力の養成と表現技術を習得し、創作の力を養い、動きと表現方法を習得する。（佐藤）

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	楽典の基礎、音名、音程 (嶋津①)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	復習。音名、音程を理解しておく
2	コードネームと和声の違い (嶋津②)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードでコードネームと和声の違いを理解しておくこと
3	和声の基本的進行 (嶋津③)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードで和声の基本的進行ができるようにしておく
4	正しい姿勢、正しい身体の動かし方を学ぶ ① ダイナミックな動き ② スムーズな動き (佐藤①)	演習	正しい姿勢、正しい身体の動かし方を復習してくる。
5	旋律の和声付け (嶋津④)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	和音、分散和音が弾けるようにしておくこと

6	和音の転回形、属7の和音 (嶋津⑤)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードで和音の転回系、属七の和音が弾けるようにしておくこと
7	移調、転調、移旋(旋法について) (嶋津⑥)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードで移調・転調ができるようにしておくこと
8	リズムの取り方を学ぶ (8ビート、16ビート) ①Upのリズム ②ダウンのリズム (佐藤②)	演習	8ビート、16ビートの取り方を復習してくる。
9	移調、転調、セブンスコード (嶋津⑦)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードでセブンスコードが弾けるようにしておくこと
10	非和声音 (嶋津⑧)	プリント使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	キーボードで非和声音が弾けるようにしておくこと
11	ステップのコンビネーションを学ぶ ①移動を伴う動きや全身の動き (佐藤③)	演習	ステップのコンビネーションを考えてくる。
12	即興演奏の基礎(メロディーの作り方) (嶋津⑨)	プリント・五線紙使用。キーボードを授業前にセットし、音が出るようにしておく。	メロディに即興で和音がつけられるようにしておくこと
13	リズムに合わせて表現する事の楽しさを体感する リズムに合わせて踊ってみよう。 (佐藤④)	演習	音楽に合わせて正しいステップを踏めるようにしておくこと
14	リズムに合わせて表現する事の楽しさを体感する 即興で踊ってみよう (佐藤⑤)	演習	音楽に合わせて即興で踊れるようにしておくこと
15	多様な音楽の世界 (嶋津⑩)	DVD・VHS(教員作成による)プロジェクター又はビデオ使用	教員が作曲した曲を鑑賞する

#### 4. 評価方法

- 実技テスト(レポート)および期末試験の点数50%
- ミニレポート出席状況30%
- 出席状況・授業への参加態度20%(積極的・意欲的に授業に参加しない者については、1回につき1点減点)

#### 5. 教科書

教員作成による資料を教材に使用

#### 6. 参考書

なし

## □□□器楽活用法Ⅰ□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 必修

非常勤講師 **伊藤俊彦**  
 (福島大学特任教授)

### 1. 授業概要

リコーダー及び身近な打楽器等を活用し、器楽演奏の技能を修得するとともに、アンサンブル活動を通して豊かな人間性と音楽的な感性を身に付けるための演習を実施する。

### 2. 目 標

リコーダーや身近な打楽器等の基本奏法を身に付け、その技能をアンサンブル活動に活かすことができるようにする。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション、自己紹介、グループ作り、アンケート調査等	プリント配付 授業に関する討議	全授業の概要を把握し、次週の内容を自学自習
2	身近な打楽器の基本奏法①	プリント配付 カスタネット、タンプリン	授業時の復習 (奏法の工夫)
3	身近な打楽器の基本奏法②	プリント配付 鈴、トライアングル	授業時の復習 (奏法の工夫)
4	身近な打楽器を使って楽曲のリズム伴奏を工夫①	プリント配付 (楽典について)	授業時の復習 (楽典の理解)
5	身近な打楽器を使って楽曲のリズム伴奏を工夫②	プリント配付 (伴奏の付け方)	授業時の復習 (伴奏の工夫)
6	リコーダーの基本奏法①	プリント配付 息の支え、タンギング	タンギングの工夫の確認
7	リコーダーの基本奏法①	プリント配付 スラー、スタッカート	奏法(スラー、スタッカート)の復習
8	リコーダーの二重奏(又は二部合奏)	プリント配付 (楽曲紹介)	授業時の復習
9	リコーダーと身近な打楽器を用いた簡単なアンサンブル①	プリント配付 (楽曲紹介)	各パートの確認と練習
10	リコーダーと身近な打楽器を用いた簡単なアンサンブル②	プリント配付 (合奏曲の選曲)	同上

11	リコーダー、打楽器、鍵盤楽器を 使ったの簡単な合奏	プリント配付 (合奏曲紹介)	バランスのよい演奏につ いての工夫を確認
12	アンサンブル発表会の計画・構想 (練習の仕方)	プリント配付 (計画書の作成)	同上
13	アンサンブル発表会の練習① 個人発表のための練習	個別指導	個人発表の準備
14	リコーダーの個人発表 アンサンブル発表会の練習②	個々による発表を実施	アンサンブル発表の準備
15	アンサンブル発表会 (グループによる発表)	互いに発表し、聴き合う (乾燥の記入)	

#### 4. 評価方法

- 個人発表・グループアンサンブル発表の仕上がり達成度50%
- 出席状況30% (6回以上欠席した場合は単位を認定しない)
- 授業への意欲的な参加態度及び積極的な発言等の学習態度20%

#### 5. 教科書

担当教員作成のプリントを配付する

#### 6. その他

リコーダー (1,500円程度)

## □□□器楽活用法Ⅱ□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

非常勤講師 **伊 藤 俊 彦**  
 (福島大学特任教授)

### 1. 授業概要

音や音楽が心身に与える影響を考慮し、自らの感性や創造性を働かせながら音楽づくりに見通しをもって音楽表現を行うことができるようにするための演習を実施する。

### 2. 目 標

様々な音楽活動を通して、友達と協力しながら物語と音楽とのかかわりを豊かに表現することができるようにする。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション、自己紹介 アンケート調査	プリント配付 授業に関する討議	全授業の概要を把握し、次週の内容を自学自習
2	体を使った音楽の表現① (身体表現の工夫)	プリント配付 (手拍子によるリズム)	身体表現の意味の理解
3	体を使った音楽の表現② (身体表現の工夫)	プリント配付 (体全体を使った表現)	身体表現の工夫について復習
4	手話を使った音楽表現① (童謡及び唱歌)	プリント配付 (気持ちの表現)	手話と音楽表現のかかわりについての理解
5	手話を使った音楽表現② (童謡及び唱歌)	プリント配付 (表現の工夫)	手話表現の工夫についての復習
6	手作り楽器の製作① (カズー作り)	プリント配付 (材料の調達)	手作り楽器の次週の内容を自学自習
7	手作り楽器の製作② (風船太鼓・マラカス等)	プリント配付 (材料の調達)	同上
8	手作り楽器を使っての音楽表現 (楽曲尾伴奏付け)	プリント配付 (簡単な楽曲を用意)	次週の小アンサンブルの楽譜についての予習
9	楽器を使っての音楽表現の工夫 (小アンサンブル)	プリント配付 アンサンブル曲の用意	物語と音楽についての内容を予め考え次週の話し合いの材料とする
10	物語と音楽の創作① (構想を練る)	計画書の提出	計画書を各自が確認する

11	物語と音楽の創作② (筋道を立て音楽表現との組み合わせ)	グループことに見通し をもって活動	物語と音楽についての構 想及び練習方法の確認
12	物語と音楽の創作③ (役割分担、使用楽器の確認)	楽器の確保 (個別練習を含む)	物語と音楽についての構 想及び練習方法の確認
13	物語と音楽の発表練習① (各グループごとに練習)	グループごとに練習し 表現の工夫	発表の練習をし、課題を確 認する
14	物語と音楽の発表練習② (物語と音楽の仕上げ)	グループとしてのまと まりを確認	発表の練習をする
15	物語と音楽の発表会	互いに見合い聴き合う	

#### 4. 評価方法

- 発表会の仕上がり完成度50%
- 出席状況30% (6回以上欠席した場合は、単位を認定しない)
- 授業への意欲的な参加態度及び積極的な発言等の学習態度20%

#### 5. 教科書

担当教員作成のプリントを配付する

#### 6. その他

リコーダー (1,500円程度)

# □□□音楽療法実習□□□

授業形態 実習  
単位数 2単位  
開講期 後期  
授業回数 6回（実習以外の時間外）  
卒業 必修

教授 <sup>さ</sup>佐 <sup>とう</sup>藤 <sup>あつ</sup>敦 <sup>こ</sup>子  
(日本音楽療法学会認定 音楽療法士)

## 1. 授業概要

音楽療法実習は、障害のある方々や高齢者の方々と音楽を通して関われる実習です。ただし、毎日が音楽で関われるわけではないので、対象者の日常と音楽行動をしている時と違いを感じ取り、音楽が人々にもたらす影響について、実習をとおして体験する。

## 2. 目標

学内の講義や演習等で学んだ理論と技術を活用し、音楽療法の実践をとおして、音楽が障害を持つ人々、高齢者にどのような効果、影響をもたらすかについて体験する。

## 3. 授業内容

### (1) 事前指導 4コマ8時間

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	実習の概要、意義、目的、内容、進め方、実習の心構え		実習の意義、目的、心構えについて調べておくこと
2	実習先への実習依頼について	依頼文、評価表、実習生プロフィール	実習先への依頼文、評価表、実習生プロフィールを作成しておくこと
3	実習課題の明確化、指導計画の書き方	指導計画	指導計画書を作成しておくこと
4	実習記録の意義、方法	実習日誌	実習の意義を再確認し、方法を作成しておくこと

### (2) 本実習 48時間（1日4時間、12日間）

### (3) 事後指導 2コマ4時間 実習反省会実施

## 4. 評価方法

実習機関による評価（70%）と事前指導（15%）・事後指導（15%）の参加状況

を勘案する。事前指導及び事後指導で5分の4以上出席しない者については、単位を認定しない。

## 5. 教科書

その都度プリント配布

## 6. 実習費

実習費 10,000 円（実費徴収）

※ただし、勤務先での実習の場合は徴収しない。

また、科目履修生については、科目履修料のうち 10,000 円を実習先への委託費とする。ただし、勤務園もしくは勤務する施設等で勤務の中で実習を行う場合で実習委託費を要しない場合は、科目履修料 10,000 円のみ手続き時に徴収する。

## 7. その他

- (1) 実習期間は10月1日～12月31日までの中の12日間とする。
- (2) 事前・事後指導は4/5以上出席する。
- (3) 本実習は定められた時数を実施する。

## □□□ 歌曲演習 I □□□

授業形態 演習（オムニバス）  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

教授 さとうあつこ 佐藤敦子

（日本音楽療法学会認定 音楽療法士）

非常勤講師 しげしたかずお 繁下和雄

（国立音楽大学元副学長・カワイ音楽研究所所長）

非常勤講師 たかはし たきこ 高橋多喜子

（淑徳大学教授・医学博士・日本音楽療法学会理事）

非常勤講師 たかはし たけし 高橋剛

（シンガーソングライター）

### 1. 授業概要

- （1）障害児及び、高齢者への歌唱法を学習する。
- （2）手作り楽器、キーボード、ウクレレ等の楽器演奏を伴った歌唱法を通して、障害児及び高齢者への歌唱に役立てる。

### 2. 目 標

- （1）障害児、高齢者への歌唱法を学ぶと同時に、発声法、ソルフェージュなど声楽の基本を学ぶ。
- （2）手作り楽器、ピアノ、ウクレレ、等を用いて弾き語りする等、幅広い角度からの障害者への歌唱法を学ぶ。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション 歌唱、ピアノの弾き語り （佐藤①）4/12	ガイダンス プリント配布	配付したプリントの曲を弾き語りできるようにしておくこと
2	歌唱、ウクレレによる弾き語り （高橋剛①）4/28	プリント配布 演習	配付したプリントをウクレレで弾き語りできるようにしておくこと
3	歌唱、ウクレレによる弾き語り （高橋剛②）5/12	プリント配布 演習	配付したプリントの曲をウクレレで弾き語りできるようにしておくこと
4	歌唱、ウクレレによる弾き語り （高橋剛③）5/26	プリント配布 演習	課題となった曲について、自学学習する

5	<高齢者の歌> 唱歌、童謡、民謡 (高橋多喜子①) 6/4	曲の解説と曲の使い方 の指導	課題曲3曲についてピアノでの弾き歌いを練習しておくこと
6	<高齢者の歌> 演歌Ⅰ(回想の引き出せる歌) (高橋多喜子②) 6/4	曲の解説と曲の使い方 の指導	課題曲3曲についてピアノでの弾き歌いを練習しておくこと
7	<高齢者の歌> 演歌Ⅱ(動作と共に歌える歌) (高橋多喜子③) 6/4	曲の解説と曲の使い方 の指導	課題曲3曲についてピアノでの弾き歌いを練習しておくこと
8	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛④) 6/9	プリント配布 演習	課題曲をウクレレで弾き語りしておくこと
9	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛⑤) 6/23	プリント配布 演習	課題曲をウクレレで弾き語りしておくこと
10	「歌う」は「訴う」もの (繁下①) 6/25	よく歌われている童謡に込められた作家の思いと行事に伴う歌についての話	「歌う」と「訴う」の共通性について復習しておくこと
11	歌の習得過程 (繁下②) 6/25	幼児が歌を覚える過程について観察実験テープを用いて説明	幼児の歌の習得過程について復習しておくこと
12	声の変身 (繁下③) 6/25	カズーを作って、声を変化させることで歌う喜びを増大させる	声の変身がどのように幼児の歌唱行動に影響を与えるのか考えること
13	音楽療法の実践(歌紹介) (佐藤②) 7/7	ゲストスピーカー 齋藤由香氏	高齢者の歌唱のセッション方法について調べておくこと
14	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛⑥) 7/21	プリント配布 演習	課題となった曲についてウクレレで弾き語りしておくこと
15	まとめ(発表会) (高橋剛⑦) 7/28	発表会	

#### 4. 評価方法

- ・発表会の評価 30%
- ・授業への参加態度 50% (積極的に歌唱しなかったり、楽器演奏しない者には1回につき1点減点)
- ・出席状況 20% (6回以上欠席した場合は単位を認定しない)

#### 5. 教科書

その都度プリント配布

#### 6. その他

ゲストスピーカーの都合により内容を変更することがある

## □□□ 歌曲演習 II □□□

授業形態 演習（オムニバス）  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

教授 <sup>さ</sup> 佐 <sup>とう</sup> 藤 <sup>あつ</sup> 敦 <sup>こ</sup> 子

（日本音楽療法学会認定 音楽療法士）

非常勤講師 <sup>しげ</sup> 繁 <sup>した</sup> 下 <sup>かず</sup> 和 <sup>お</sup> 雄

（元国立音楽大学副学長、カワイ音楽教育研究所所長）

非常勤講師 <sup>たか</sup> 高 <sup>はし</sup> 橋 <sup>たき</sup> 多喜子 <sup>こ</sup>

（淑徳大学教授、医学博士、日本音楽療法理事）

非常勤講師 <sup>たか</sup> 高 <sup>はし</sup> 橋 <sup>たけし</sup> 剛

（シンガーソングライター）

### 1. 授業概要

- (1) 障害児及び高齢者、精神疾患を持つ患者への歌唱法を習得する。
- (2) 手作り楽器、キーボード、ウクレレ等での歌唱法を学ぶ。
- (2) 歌曲演習 I の応用編である。

### 2. 目 標

障害児及び、精神疾患患者、高齢者への歌唱法を学ぶと同時に、リラクゼーションを必要とする人々への発声法、ソルフェージュなど声楽の基本から、うた遊びまで学ぶ。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション (佐藤①) 10/6	ガイダンス	課題となった曲について、対象者（児）へセッションできるようにしておくこと
2	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛①) 10/13	配布プリント 演習	課題となった曲について、ウクレレで弾き語りできるようにしておくこと
3	<精神科での歌> 1) リクエストの多い歌 (高橋多喜子①) 10/15	曲の解説と曲の 使い方の指導	課題曲 3 曲の弾き歌いを練習しておくこと
4	<精神科での歌> 2) 認知行動療法的アプローチに使える歌 (高橋多喜子②) 10/15	曲の解説と曲の 使い方の指導	課題曲 3 曲についてピアノでの弾き歌いを練習しておくこと

5	<精神科での歌> 3) 唱歌、童謡、民謡 (高橋多喜子③) 10/15	曲の解説と曲の 使い方の指導	課題曲 3 曲についてピアノで の弾き歌いを練習しておくこ と
6	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛②) 10/20	プリント配付 演習	課題となった曲についてウクレレ で弾き語りできるようにしておく
7	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛③) 10/27	プリント配付 演習	課題となった曲についてウクレレ で弾き語りできるようにしておく
8	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛④) 11/10		課題となった曲についてウクレレ で弾き語りできるようにしておく
9	音をあそぶ (繁下①) 11/19	ストロー笛、ピッ チパイプ等手軽 にできる手作り 楽器を製作する	ストロー笛、ピッチ、パイプで のセッションができるように しておくこと
10	あそび歌の構造 (繁下②) 11/19	わらべうたの音 階、あそび歌の和 音構造	わらべうたの音階とあそび歌 の和音構造について比較研究 しておくこと
11	伴奏なんてこわくない (繁下③) 11/19	あそび歌の基本的 な和音構造を理解 するとピアノやギ ターでの伴奏が容 易にできることを 実習する	課題となった曲について、ピア ノやギターで弾けるようにし ておくこと
12	音楽療法の歌唱についての講義 (佐藤②) 11/24	ゲストスピーカ ー星山氏	難病にかかった小学生が目の 動きだけで効果のある音楽療 法について考えておくこと
13	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛⑤) 12/8	プリント配付 演習	課題となった曲についてウクレレ で弾き語りできるようにしておく
14	歌唱、ウクレレによる弾き語り (高橋剛⑥) 1/19	プリント配付 演習	課題となった曲についてウクレレ で弾き語りできるようにしておく
15	まとめ(発表会) (高橋剛⑦) 2/2	発表会	

#### 4. 評価方法

- ・発表会の完成度、仕上がり 30%
- ・授業への参加態度 50% (積極的に歌唱しなかったり、楽器演奏しない者には1回につき1点減点)
- ・出席状況 20% (6回以上欠席した場合は単位を認定しない)

#### 5. 教科書

その都度プリント配布

## □□□音楽と心理□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

非常勤講師 
 ふた  
 二  
 俣  
 泉

(東邦音楽大学准教授・日本音楽療法学会常任理事)

### 1. 授業概要

音楽療法の定義、音楽療法の歴史を学ぶと共に、多様なアプローチ（身体モデル、心理モデル、社会モデル）を把握する。

### 2. 目 標

音楽療法とは何かを理解する。多様なアプローチの理論的背景を理解すること。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	音楽療法とは何か、音楽療法の定義、音楽療法に必要な要素は何か	プリント配布	授業時の内容を復習する。
2	音楽療法実践の流れ（アセスメント、実践、記録、評価）について	プリント配布	授業時の内容を復習する。
3	音楽療法の歴史	プリント配布	授業時の内容を復習する。
4	身体へのアプローチ	プリント配布	授業時の内容を復習する。
5	神経学的音楽療法	プリント配布	臨床心理学の入門書を3冊読み、レポートを作成する。
6	精神分析理論①	プリント配布	臨床心理学の入門書を3冊読み、レポートを作成する。
7	精神分析理論②	プリント配布	臨床心理学の入門書を3冊読み、レポートを作成する。
8	行動療法理論①	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。

9	行動療法理論②	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
10	人間主義心理学	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
11	ノードフ・ロビンス音楽療法	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
12	トランスパーソナル心理学①	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
13	トランスパーソナル心理学②	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
14	コミュニティ音楽療法	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。
15	徹底的音楽主義 まとめ（レポート）	プリント配布	指定された内容の自学学習を行う。

#### 4. 評価方法

授業内の小テスト 10%、レポート 70%、課題への取り組みならびに自発的応答 20%

#### 5. 教科書

書名 『音楽療法をまなぶ 第2版』  
 著者名 二俣 泉  
 発行所 音楽療法研究会  
 価格 2,100円

#### 6. その他

## □□□環境音楽□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 5回  
 卒業 選択

非常勤講師 はやし よう じ  
**林** **庸** **二**

(日本大学芸術学部非常勤講師・  
 日本音楽心理学音楽療法懇話会役員)

### 1. 授業概要

音楽は、さまざまな形で心身の働きの活性化・調整・統合などを促す。こうした音楽の持つ機能を有効に活用するのが音楽療法である。本授業においてはさまざまな障害を抱える人たちを対象にした音楽療法の理論と実際を学ぶ。

### 2. 目 標

音楽療法における音楽の捉え方を考察することを通して、「人間と音楽の関わり」ないしは「人間にとっての音楽の意味」の理解を深めることを目標とする。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	音楽療法の理論と実際ーノードフ・ロビンスの音楽療法に見る音楽によるコミュニケーション	プリントを配布。AV教材「音楽で心も身体も健やかに」(約 20分)、「ノードフ・ロビンス音楽療法センター紹介ビデオ」(約 10分)	「音楽によるコミュニケーション」について自分の考えをまとめておくこと。
2	「音楽と健康」 「健康とは何か」を見直し、音楽と健康とのかかわりについて考える。	プリントを配布。	「心身の健康」について考えておくこと。
3	「音楽とムーブメント」 音楽に合わせてのムーブメントによる自己表現	AV教材「みんながってみんないい」(約 50分)を通して、健常者と障害者が一緒になってのダンス・ワークショップの治療的意義を考える。	「身体表現」とは何かについて考えておくこと。

4	「芸術の心理療法的機能」 音楽を中心とした芸術が本質的に有する心理療法的機能について考察する。	プリントを配布	心理療法やカウンセリングに関する文献に目を通しておくこと。
5	「音楽と言葉」 コミュニケーション・メディアとしての音楽と言葉のそれぞれの特性を考える。	プリントを配布。AV教材「ノードフ・ロビ ンズ音楽療法セミナー」(約20分)	「音楽は言葉の一つである」ということについて考えておくこと。

#### 4. 評価方法

レポートの成績による。詳しくは第1回の授業のときに示す。

#### 5. 教科書

授業内容の概略を記述したプリントを配布する。

# □□□障害児保育□□□

(保育科第一部「障害児保育」と同時開講)

授業形態 演習  
 単位数 1単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

講師 武井 憲一

## 1. 授業概要

障害児保育を支える理念、障害児を取り巻く保育の現状、様々な障害の理解と個別配慮、個に応じた保育支援、家庭に対する支援などについて概説する。

## 2. 目 標

障害児やその保育に関する基本的な事項について理解し、障害児保育についての適正な知識と認識を持つ。

## 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション 第1章 障害児の理解 1. 障害とは 2. ノーマライゼーションの広がり	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
2	3. 障害に関するWHOの国際分類 4. 障害の理解	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
3	第2章 障害児の保育の形態	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
4	第3章 障害幼児の受け入れ	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
5	第4章 家庭への子育て支援	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
6	第5章 関係機構、施設との連携 1. なぜ連携・協力が大切なのか 2. 専門医の診断 3. 障害児のための関係機関・施設①	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
7	3. 障害児のための関係機関・施設② 4. 療育施設との協力 5. 地域行政機関のサービス	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
8	第6章 就学と特別支援教育	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
9	第7章 視覚障害児の保育の実際	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと

10	第8章 聴覚障害児の保育の実際	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
11	第9章 肢体不自由児の保育の実際	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
12	第10章 知的障害児の保育の実際	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
13	第11章 言語障害児の保育の実際	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
14	第12章 広汎性発達障害（自閉症）、学習障害、注意欠陥／多動性障害とは	教科書	授業で実施する項目については、事前にテキストを熟読してから臨むこと
15	まとめ	レポート提出	

※授業時間外の必要な学修の詳細については、授業時に説明する。

#### 4. 評価方法

レポート提出80%、出席状況10%（6回以上欠席の場合は単位を認定しない）、授業態度10%（積極的に授業に参加しない者については1回につき1点減点）

※詳しくは授業時に示す。

#### 5. 教科書

書名 『幼稚園・保育所の先生のための障害児保育テキスト』  
 著書名 若井淳二・水野薫・酒井幸子  
 発行所 教育出版  
 価格 1,900円（税別）

# 障害児の心理

(福祉心理学科「障害児への心理援助」と同時開講)

授業形態 講義  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

兼担教授 いたがきけんたろう  
**板垣 健太郎**

## 1. 授業概要

心身障害（児）の概念、原因、症状、援助について概説する。

## 2. 目標

- ・ 障害の概念や分類について理解する。
- ・ 障害の症状、心理特性、原因について理解する。
- ・ 障害児に対する心理学的な援助原理について理解する。
- ・ 望まれる援助者の態度について知る。

## 3. 授業内容

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	授業説明、障害（児）の意義		要約集の該当部分を参考に理解を深める
2	心身障害の分類と種類 知能障害他		要約集の該当部分を参考に理解を深める
3	心身障害の分類と種類 言語障害他		要約集の該当部分を参考に理解を深める
4	情緒障害—概念、分類、対応		要約集の該当部分を参考に理解を深める
5	自閉症① VTRに見る自閉症の姿	VTR「心の窓を開け 翔くん」40分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
6	自閉症② 症状		要約集の該当部分を参考に理解を深める
7	自閉症③ 原因、援助原理		要約集の該当部分を参考に理解を深める
8	知的障害① VTRに見る知的障害児の姿	VTR「ダウン症児のび やかに育て」15分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
9	知的障害② 知能指数、知的障害の程度と状態、 援助原理		要約集の該当部分を参考に理解を深める
10	発達障害① 概念、種類、行動特徴		要約集の該当部分を参考に理解を深める

11	発達障害② 原因と援助原理		要約集の該当部分を参考に理解を深める
12	障害児への心理援助① 援助の目的と内容		要約集の該当部分を参考に理解を深める
13	障害児への心理援助② 援助の方法		要約集の該当部分を参考に理解を深める
14	家族への心理援助、援助者の問題		要約集の該当部分を参考に理解を深める
15	まとめ		
16	期末試験		

#### 4. 評価方法

期末試験（100点満点の筆記試験）により評価。ただし、欠席1回につき2点ずつ減ずる。詳しくは初回時に説明する。（中間試験は実施しない）

#### 5. 教科書

なし

※ただし資料として「23年度『障害児への心理援助要約集』」を配布する。

#### 6. 参考図書

なし

#### 7. その他

福祉学部との合同授業

## □□□障害者の心理□□□

（福祉心理学科「障害者への心理援助」と同時開講）

授業形態 講義  
 単位数 2単位  
 開講期 後期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

兼担教授 いた がき けんたろう  
**板 垣 健太郎**

### 1. 授業概要

心身に障害を持つ人の心理学的理解、援助原理について概説する。

### 2. 目 標

- ・「心」についての一般概念を知る。
- ・障害の概念や種類、原因等について基本的なことを知る。
- ・障害の受容について考える。
- ・障害を持つ人が抱える問題について理解する。
- ・障害を持つ人の心理特性について理解する。
- ・障害を持つ人への援助原理を理解する。
- ・援助者の抱える問題について知る。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	授業説明 1. 心とは何か (1) 意識 (2) 無意識	VTR「ジグモント・フロイト」30分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
2	1. 心とは何か (2) 自己実現		要約集の該当部分を参考に理解を深める
3	1. 心とは何か (3) 行動	VTR「行動分析」 15分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
4	2. 障害（児・者）の概念 3. 障害の階層的理解		要約集の該当部分を参考に理解を深める
5	4. 障害の分類と種類		要約集の該当部分を参考に理解を深める
6	5. 障害の受容 ①障害受容の課程	VTR「左手のピアニスト」25分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
7	4. 障害の受容 ②障害受容の援助		要約集の該当部分を参考に理解を深める
8	5. 知的障害 (1) 定義、原因、程度		要約集の該当部分を参考に理解を深める

9	5. 知的障害 (2) 援助原理	VTR「目指せ豆腐職人」15分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
10	6. 自閉症 (1) 症状(行動特徴)	VTR「お仕事がんばります」50分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
11	6. 自閉症 (2) 原因	VTR「ようこそ私の世界へ」50分	要約集の該当部分を参考に理解を深める
12	6. 自閉症 (3) 援助原理		要約集の該当部分を参考に理解を深める
13	7. 障害者への心理援助 (1) 目的(2) 内容(3) 方法		要約集の該当部分を参考に理解を深める
14	7. 障害者への心理援助 (4) 援助者の問題		要約集の該当部分を参考に理解を深める
15	まとめ		
16	期末試験		

#### 4. 評価方法

期末試験(100点満点の筆記試験)により評価。ただし、欠席1回につき2点ずつ減ずる。詳しくは初回時に説明する。

#### 5. 教科書

なし

※ただし資料として「23年度『障害者への心理援助要約集』」を配布する。

#### 6. 参考図書

なし

#### 7. その他

福祉学部との合同授業

# □□□障害者福祉論□□□

(メディア科目)

授業形態	講義
単位数	2単位
開講期	後期
授業回数	16回
卒業	選択

非常勤講師 **み** **うら** **つよし**  
**三** **浦** **剛**  
(東北福祉大学教授)

## 《受講の方法について》

### (1) ビデオの借用とレポート提出について

メディア（ビデオ）により授業を行う。「授業の内容」により回数ごとに指定したビデオを視聴し、レポートを提出する。

ビデオは福島駅前キャンパス事務室で所定の手続きを経て借用し、レポートは福島駅前キャンパス事務室に提出すること。

なお、別に配布する「平成23年度保育専攻第二部メディア科目ビデオ借用計画表」のとおり、ビデオ借用期間及びレポート提出日がそれぞれ定められているため厳守すること。

### (2) レポートの内容

ビデオ視聴後、800字程度のレポートを作成する。「レポート作成課題」に従いレポートを作成すること。

なお、レポート返却時には、添削内容とともに毎回採点（A<sup>+</sup>、A、B、C、D）が記載されるので、次回のレポート作成時に参考にすること。採点がDの時は再提出を必要とする。

レポート作成時の参考図書は、「5. 教科書」に示したとおり。

### (3) スクーリングについて

7回目、15回目は福島駅前キャンパスにおいてスクーリングを行う。

ビデオ授業における補足説明や質疑応答等を行うので、予め質問項目等をまとめたうえで出席すること。

### (4) 期末試験について

後期の期末試験期間中に駅前キャンパスにおいて実施する。筆記試験とし、ビデオ視聴およびスクーリング内容から出題する。

## 1. 授業概要

障害者とは身体的、精神的な理由により日常生活をおくる上で何らかの困難がある普通の市民のことをいう。ここでは障害を自らのこととしてとらえ、その問題を社会的問題として解決していくための倫理、価値や知識と技術を学ぶ。

## 2. 目 標

- (1) 障害の概念を理解し、社会的問題としてとらえることができる
- (2) 障害者福祉支援の基本理念を理解する
- (3) 生活上の困難を理解し、障害者のニーズを把握する
- (4) 障害者への社会福祉制度に関する知識を学ぶ
- (5) 障害者福祉にかかわる社会福祉専門職のあり方を学ぶ

### 3. 授業内容

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション ー障害者福祉を学ぶ視点	ビデオ①	レポート提出
2	障害とは何か ーICFから	ビデオ②	レポート提出
3	障害とは何か ーソーシャルワークの視点から	ビデオ③	レポート提出
4	障害者福祉の歴史(1)	ビデオ④	レポート提出
5	障害者福祉の歴史(2)	ビデオ⑤	レポート提出
6	障害者福祉の理念(1) ーリハビリテーションや自立生活の理念	ビデオ⑥	レポート提出
7	スクーリング① 11月18日(金)6限 駅前キャンパス		
8	障害者福祉の理念(2) ーノーマライゼーション、インクルージョンの理念 わが国の障害者福祉 ー障害者基本法	ビデオ⑦ ビデオ⑧	レポート提出
9	わが国の障害者福祉 ー近年の動向	ビデオ⑨	レポート提出
10	障害者自立支援制度の意義と内容	ビデオ⑩	レポート提出
11	障害者自立支援制度の問題点と今後の展開	ビデオ⑪	レポート提出
12	障害がある人の生活とニーズに関する統計的実態	ビデオ⑫	レポート提出
13	障害がある人への社会福祉支援の実際(1) ーニーズの把握と個別支援計画策定の事例から	ビデオ⑬	レポート提出
14	障害がある人への社会福祉支援の実際(2) ー社会福祉専門職と組織の役割 障害がある人への社会福祉支援の実際(3) ーケアマネジメントを用いた地域生活支援における多機関連携の事例から	ビデオ⑭ ビデオ⑮	レポート提出
15	スクーリング② 1月27日(金)6限 駅前キャンパス		
16	期末試験 2月3日(金)6限 駅前キャンパス		

#### 4. 評価方法

- ①毎回のレポート提出（内容の把握、理解ができているかを重視する） 40%
- ②スクーリング（出席点） 20%
- ③期末試験の点数により評価する 40%

#### 5. 教科書

担当者が作成したプリントを配布する。

#### 6. 参考図書

書名 『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』  
著者名 社会福祉士養成講座編集委員会編  
発行所 中央法規  
価格 2,220円

# 障害者福祉論

(福祉心理学科と同時開講)

授業形態 講義  
単位数 2単位  
開講期 前期  
授業回数 15回  
卒業 選択

非常勤講師 **み** **うら** **つよし**  
**三 浦 剛**  
(東北福祉大学教授)

## 1. 授業概要

障害者とは身体的、精神的な理由により生活上に何らかの困難がある普通の市民のことをいう。ここでは障害について自らのこととしてとらえ、その問題を社会的問題として解決、解消していく専門職となるための倫理、価値観とその基礎的な知識、技術を学ぶ。

障害の概念、支援理念、障害者の生活、ニーズの実態などについて知り、実際の社会福祉支援（ソーシャルワーク）に関する知識を身につける。

## 2. 目標

- (1)「障害」の概念を理解し、その問題を社会的問題としてとらえることができるようになる。
- (2)障害者福祉支援の基本理念を理解する。
- (3)障害者の生活の実態とニーズを理解する
- (4)障害者支援制度、関連施策にかんする知識と支援技術を学ぶ。
- (5)ソーシャルワーク専門職としてのあり方を考える。

## 3. 授業内容

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーションー障害者福祉を学ぶ視点	講義	
2	障害の概念ーソーシャルワーク、国際生活機能分類（ICF）の視点から	講義、教科書 PP.19-25	予習は教科書の該当箇所。 復習はノートの整理
3	障害者福祉の歴史	講義	予習は教科書の該当箇所。 復習はノートの整理
4	障害者福祉の理念(1)	講義	予習は教科書の該当箇所。 復習はノートの整理
5	障害者福祉の理念(2)	講義	予習は教科書の該当箇所。 復習はノートの整理
6	わが国の障害者福祉(1)ー障害者基本法にみる理念	講義、教科書 PP.2-6 PP.26-35	予習は教科書の該当箇所。 復習はノートの整理

7	わが国の障害者福祉(2)－近年の動向	講義、教科書 PP.7-10	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
8	障害がある人たちの生活の実態と要望(1)－障害児、身体障害者、知的障害者の場合	講義、教科書 PP.11-18	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
9	障害がある人たちの生活の実態と要望(2)－精神障害者、発達障害者、法の狭間にある人たちの場合	講義、教科書 PP.11-18	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
10	わが国の障害者福祉施策－障害者基本法、障害者自立支援法の内容	講義、教科書 PP.26-38 PP.54-105	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
11	障害がある方への支援(1)－「障害者相談支援」の実際	講義、教科書 PP.132-161	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
12	障害がある方への支援(2)－専門職、組織の役割と実際	講義、教科書 PP.132-161	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
13	障害がある方への支援(3)－多職種連携、ネットワーキング	講義、教科書 PP.162-185	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
14	障害者支援の関連施策と法律－教育、雇用、権利擁護、医療・年金保険制度、発達障害者支援法など	講義、教科書 PP.39-53	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
15	障害者相談支援の事例研究	講義	予習は教科書の該当箇所。復習はノートの整理
16	期末試験		

#### 4. 評価方法

期末試験の点数 70%、小テスト(3回予定)30%

#### 5. 教科書

書名 『新・社会福祉士養成講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」』  
 著者名 社会福祉士養成講座編集委員会編  
 発行所 中央法規  
 価格 2,200円

# □□□老人福祉論□□□

(福祉心理学科「老人福祉論」と同時開講)

授業形態 講義  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

兼担助教 はせがわ たけし  
**長谷川 武史**

## 1. 授業概要

日本の高齢者福祉は、2000(平成 12)の介護保険法施行を契機に、従来、行政の措置として提供されていた高齢者への支援が、利用者が自ら希望する支援内容を選択・契約する仕組みに転換した。今日においても、高齢者福祉を取り巻く状況は変化を続け、議論が進められている。

本科目では、日本における高齢者福祉の発展過程を踏まえ、現状と課題を認識し、福祉従事者として必要な基本的知識を習得することを目的としている。なお、本科目については、福祉学部福祉心理学科「老人福祉論」との合同授業となる。

## 2. 目 標

- ・ 高齢者の現状と生活背景について理解する。
- ・ 高齢者福祉制度の歴史について理解する。
- ・ 福祉従事者として必要な各種法制度について理解する。

## 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	・ 高齢者の特性① 地域生活から見た高齢者の現状理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 2-9 頁 復習：地域生活において生じる問題の整理
2	・ 高齢者の特性② 加齢に伴う心身変化から見た高齢者の特性理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 10-23 頁 復習：高齢期に生じる心身の変化・特性の整理
3	・ 高齢者の特性③ QOL の理解、ライフスタイルの加齢的变化による高齢者のニード理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 24-29 頁 復習：高齢期のライフスタイル、ニードを踏まえた QOL の整理
4	・ 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢 少子高齢社会の到達背景および高齢者福祉サービスの必要性の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 30-40 頁 復習：少子高齢社会の構成要素および高齢者施策の必要性の整理
5	・ 高齢者の生活実態と福祉および介護需要 現在の高齢者の生活課題およびその対応としての高齢者福祉サービスの必要性理解	講義(教科書・プリント・VTR 使用)	予習：教科書 41-59 頁 復習：高齢者に発生する生活課題および高齢者施策の必要性の整理
6	・ 高齢者福祉制度の発展過程① 戦前の高齢者福祉制度の概要理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 62-76 頁 復習：各種制度成立の背景および高齢者の社会的位置付け整理

7	・高齢者福祉制度の発展過程② 戦後および高度経済成長期の高齢者福祉制度の概要理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 77-79 頁 復習：各種制度成立の背景および高齢者の社会的位置付け整理
8	・高齢者福祉制度の発展過程③ 平成以降の高齢者福祉制度の概要理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 80-85 頁 復習：各種制度成立の背景の整理
9	・高齢者支援の関係法規の概要理解 ・小試験(1回~8回目の内容確認として実施)	講義(教科書・プリント使用) 次回授業資料配布 (老人福祉法条文抜粋)	予習：教科書 86-91 頁、1~8 回目の内容確認 復習：現在の高齢者支援関係法規の関係性整理
10	・老人福祉法① 成立背景と目的の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 92-94 頁、配布資料 復習：老人福祉法の成立理由及び目的の整理
11	・老人福祉法② 老人福祉法の具体的内容および関連制度の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 94-96 頁 復習：各規定内容の整理
12	・高齢者の医療の確保に関する法律 成立背景、目的、具体的内容の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 97-102 頁 復習：後期高齢者医療制度の概要整理
13	・高齢者虐待防止法 法律の概要および高齢者虐待の現状の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 103-111 頁 復習：虐待防止施策の仕組みおよび現状の整理
14	・介護保険法の基本的枠組み① 創設背景、目的、理念の理解	講義(教科書・プリント使用)	予習：教科書 122-131 頁 復習：介護保険制度創設理由の整理
15	・介護保険法の基本的枠組み② 介護保険制度の具体的内容理解	講義(教科書・プリント・VTR 使用)	予習：教科書 132-146 頁 復習：介護保険制度の構成要素の整理
16	・前期末試験		

#### 4. 評価方法

前期末試験 60%、小試験 20%、提出物 20%(毎時、リアクションペーパー提出。提出回数、内容により評価。)

#### 5. 教科書

書名 『社会福祉小六法 2011 [平成 23 年版]』  
著者名 ミネルヴァ書房編集部  
発行所 ミネルヴァ書房  
価格 1,680 円(税込)

#### 6. 参考図書

書名 『高齢者に対する支援と介護保険制度』  
著者名 社会福祉士養成講座編集委員会  
発行所 中央法規出版  
価格 2,730 円(税込)

書名 『福祉小六法 2011』  
著者名 中央法規  
発行所 社会福祉法人 大阪ボランティア協会(編)  
価格 1,470 円(税込)

書名 『高齢者福祉の世界』  
著者名 直井道子・中野いく子・和気純子(編)  
発行所 有斐閣アルマ  
価格 1,785 円(税込)

#### 7. その他

- ・ 参考書に示した2つの小六法のうち、いずれかが手元にあると望ましい。
- ・ 授業中の私語は、他の学生の学習権を侵害する行為であることに十分留意すること。

# □□□医学概論□□□

(メディア科目)

授業形態	講義
単位数	2単位
開講期	後期
授業回数	15回
卒業	選択

兼担教授 か やま ゆき ひこ  
香 山 雪 彦

## 《受講の方法について》

### (1) ビデオの借用とレポート提出について

メディア（ビデオ）により授業を行う。「授業の内容」により回数ごとに指定したビデオを視聴し、レポートを提出する。

ビデオは福島駅前キャンパス事務室で所定の手続きを経て借用し、レポートは福島駅前キャンパス事務室に提出すること。

なお、別に配布する「平成22年度保育専攻第二部メディア科目ビデオ借用計画表」のとおり、ビデオ借用期間及びレポート提出日がそれぞれ定められているため厳守すること。

### (2) レポートの内容

ビデオ視聴後、800字程度のレポートを作成する。「レポート作成課題」に従いレポートを作成すること。

なお、レポート返却時には、添削内容とともに毎回採点（A<sup>+</sup>、A、B、C、D）が記載されるので、次回のレポート作成時に参考にすること。採点がDの時は再提出を必要とする。

レポート作成時の参考図書は、「5. 教科書」に示したとおり。

### (3) スクーリングについて

7回目、15回目は福島駅前キャンパスにおいてスクーリングを行う。

ビデオ授業における補足説明や質疑応答等を行うので、予め質問項目等をまとめたうえで出席すること。

### (4) 期末試験について

後期の期末試験期間中に駅前キャンパスにおいて実施する。筆記試験とし、ビデオ視聴およびスクーリング内容から出題する。

## 1. 授業概要

音楽療法を学ぶために必要な医療全般の状況を理解し、その基礎となるヒトの体と医学の知識を習得するための授業である。講師の臨床医としての経験、生理学者として蓄積してきた知識、摂食障害に苦しむ人たちのグループの世話を通じて見てきた社会や家族の状況の理解など、得てきたものから抽出された全てを注ぐ授業としたい。

## 2. 目 標

上記の必要な知識の習得だけに終わらず、現在の社会で問題となっている医学・医療の状況について、どのようなところがうまくいっておらず、その原因はどこにあり、どのようなことが望まれ、そこで自分たちは何ができるか、といったことを考える態

度を養い、音楽療法に生かしていく。

### 3. 授業内容

回数	授業内容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修	
1	<p>医学の誕生と発展 現代の医学：臨床医学概観</p> <p>医学の誕生と発展 シャーマニズム 経験の積み重ねと理論化—例えば漢方 近代医学の誕生—解剖学と生理学の役割 医師と病院の誕生 近代都市の発展と衛生学 ヒポクラテスの誓いから患者の権利章典へ</p> <p>現代の医学：臨床医学概観 科学としての医学と医療 Double-blind test Evidence-based medicine 科学では解決できない部分 Narrative-based medicine Cure vs. care Quality of life Living will Informed consent Bioethics 社会の中の医療と医学 新しい診断・治療法と新しい問題 高度専門化と診療科再編 家庭医療 医療費の高騰 医療事故と裁判</p>	ビデオ①	<p>講義(これから勉強する内容の紹介)</p> <p>英語で紹介されている言葉の意味を調べておく</p>	
2	<p>体の構造・機能とその障害 1 水の出入りと腎臓</p>	<p>水の出入り 電解質・浸透圧 血液 腎機能と腎不全</p>	ビデオ②	<p>プリント配布 自分が一日に飲む水の量と排出する尿量を考えてみる</p>
3	<p>体の構造・機能とその障害 2 循環</p>	<p>血管の分類と機能 心臓のポンプ作用と心不全 心臓のリズムと心電図 ショック</p>	ビデオ③	<p>プリント配布 種々の部位の脈拍を触れてみる。できれば血圧を測ってみる。</p>
4	<p>体の構造・機能とその障害 3 消化と栄養</p>	<p>消化器系 栄養素 エネルギー代謝 肥満とダイエット</p>	ビデオ④	<p>プリント配布 自分の一日の摂取カロリー・消費カロリーのバランスを考えてみる</p>

5	体の構造・機能とその障害4 呼吸	気道と肺 ガス交換と酸素輸送 呼吸不全 人工呼吸・救急蘇生	ビデオ⑤	プリント配布 自分の呼吸諸量の概 略値を袋などを使っ て調べてみる
6	体の構造・機能とその障害5 性分化と生殖	体の性分化 脳の性分化 人間の性別を問う 性行動の意味	ビデオ⑥	プリント配布 自分が性的にいかな る存在か考えてみる
7	スクーリング①		12月4日 (土) 1時限目 駅前キャンパス	プリント配布 自分で膝蓋腱反射、片 足立ち、指-指試験な どを試してみる
8	体の構造・機能とその障害6 神経系の構造と動き方 体の構造・機能とその障害7 自律神経系	神経興奮の伝導と伝達 筋収縮 運動の企画と制御、感覚系 内臓感覚 交感神経系 副交感神経系 自律神経伝達物質	ビデオ⑦  ビデオ⑧	プリント配布 日常生活の中で自律 神経系が働いている 場面をあげてみる
9	体の構造・機能とその障害8 自動調節系①	呼吸の調節 視床下部の機能 体温調節 摂食の調節	ビデオ⑨	プリント配布 暑い時、寒い時、空腹 時、満腹時の体の反応 を観察する
10	体の構造・機能とその障害9 自動調節系②	浸透圧・飲水の調節 内分泌系の統合 概日リズム 睡眠・覚醒	ビデオ⑩	プリント配布 自分は毎日どのよう に寝たり起きたりし ているか振り返る
11	体の構造・機能とその障害10 高次脳機能	知覚と認知 記憶 言語 大脳半球の機能差	ビデオ⑪	プリント配布 自分が持っている記 憶の種類を分類して みる
12	体の構造・機能とその障害11 脳とこころ	情報処理器官としての脳 こころは脳の働き 意識と無意識 こころの科学的治療は可能か	ビデオ⑫	プリント配布 自分の行動の中で意 識を介しているもの、 無意識のものを考え てみる
13	現代の医療現場の特徴的な姿1 明：診断・治療技術の進歩	内視鏡と画像診断 分子生物学的診断法 集学的治療 再生医療	ビデオ⑬	講義(医療の現状の紹 介) 自分や家族がどのよ うな医療の恩恵を受 けてきたか振り返っ てみる
14	現代の医療現場の特徴的な姿2 暗：医療崩壊  現代の医療現場の特徴的な姿3 より良い医療を目指して	医療の偏在・医療過疎 少子高齢化 保険制度崩壊の危機 医療不信・医療訴訟 医療分野の専門家 Evidence-based medicine 医療倫理・情報開示	ビデオ⑭  ビデオ⑮	講義(医療の現状の紹 介) 自分や家族が医療の どのような場面で問 題を感じたか振り返 ってみる

		安全対策		
15	スクーリング②		1月28日 (土) 1時限目 駅前キャンパス	講義と討論(医療のあるべき姿) 理想的な医療と現実とのギャップを考察してみる
16	期末試験		1月28日 (土) 2時限目 駅前キャンパス	

#### 4. 評価方法

(1) 毎回のレポート提出 40%

※提出期日までに全てのレポートが提出されていない場合は、単位認定しない。

(2) スクーリング 20%

※スクーリング時に質問事項を準備せず、発言のない者は5点減点する。

※スクーリングに欠席した場合は、単位認定しない。

(3) 期末試験 40%

#### 5. 教科書

書名 『食を拒む・食に溺れる心』

著者名 香山雪彦

発行所 思想の科学社

価格 2,000円＋税

#### 6. 参考図書

書名 『病棟で働く人のための生理学』

著者名 香山雪彦・前川剛志

発行所 学研メディカル秀潤社

価格 3,000円＋税

#### 7. 教材

VTR

# □□□医学概論□□□

(福祉心理学科と同時開講)

授業形態 講義  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

教授 **か** **やま** **ゆき** **ひこ**  
**香** **山** **雪** **彦**

## 1. 授業概要

社会福祉士、精神保健福祉士、心理関係専門職となるために必要な医療全般の状況を理解し、その基礎となるヒトの体と医学の知識を習得するための授業である。講師の臨床医としての経験、生理学者として蓄積してきた知識、摂食障害に苦しむ人たちのグループの世話を通じて見てきた社会や家族の状況の理解など、得てきたものから抽出された全てを注ぐ授業としたい。

## 2. 目 標

上記の必要な知識の習得だけに終わらず、現在の社会で問題となっている医学・医療の状況について、どのようなところがうまくいっておらず、その原因はどこにあり、どのようなことが望まれ、そこで自分たちは何ができるか、といったことを考える態度を養うことを目指す。

## 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法 ・教材	授業時間外の 必要な学修
1	医学の誕生と発展 現代の医学：臨床医学概観  医学の誕生と発展 シャーマニズム 経験の積み重ねと理論化—例えば漢方 近代医学の誕生—解剖学と生理学の役割 医師と病院の誕生 近代都市の発展と衛生学 ヒポクラテスの誓いから患者の権利章典へ  現代の医学：臨床医学概観 科学としての医学と医療 Double-blind test Evidence-based medicine 科学では解決できない部分 Narrative-based medicine Cure vs. care Quality of life	講義	講義(これから勉強する内容の紹介)  英語で紹介されている言葉の意味を調べておく

	Living will Informed consent Bioethics 社会の中の医療と医学 新しい診断・治療法と新しい問題 高度専門化と診療科再編 家庭医療 医療費の高騰 医療事故と裁判			
2	体の構造・機能とその障害1 水の出入りと腎臓	水の出入り 電解質・浸透圧 血液 腎機能と腎不全	講義 質問票配布	プリント配布 自分が一日に飲む水の量と排出する尿量を考えてみる
3	体の構造・機能とその障害2 循環	血管の分類と機能 心臓のポンプ作用と心不全 心臓のリズムと心電図 ショック	講義 質問票配布	プリント配布 種々の部位の脈拍を触れてみる。できれば血圧を測ってみる。
4	体の構造・機能とその障害3 消化と栄養	消化器系 栄養素 エネルギー代謝 肥満とダイエット	講義 質問票配布	プリント配布 自分の一日の摂取カロリー・消費カロリーのバランスを考えてみる
5	体の構造・機能とその障害4 呼吸	気道と肺 ガス交換と酸素輸送 呼吸不全 人工呼吸・救急蘇生	講義 質問票配布	プリント配布 自分の呼吸諸量の概略値を袋などを使って調べてみる
6	体の構造・機能とその障害5 性分化と生殖	体の性分化 脳の性分化 人間の性別を問う 性行動の意味	講義 質問票配布	プリント配布 自分が性的にいかなる存在か考えてみる
7	体の構造・機能とその障害6 神経系の構造と動き方	神経興奮の伝導と伝達 筋収縮 運動の企画と制御 感覚系	講義 質問票配布	プリント配布 自分で膝蓋腱反射、片足立ち、指-指試験などを試してみる
8	体の構造・機能とその障害7 自律神経系	内臓感覚 交感神経系 副交感神経系 自律神経伝達物質	講義 質問票配布	プリント配布 日常生活の中で自律神経系が働いている場面をあげてみる
9	体の構造・機能とその障害8 自動調節系（1）	呼吸の調節 視床下部の機能 体温調節 摂食の調節	講義 質問票配布	プリント配布 暑い時、寒い時、空腹時、満腹時の体の反応を観察する
10	体の構造・機能とその障害9 自動調節系（2）	浸透圧・飲水の調節 内分泌系の統合 概日リズム 睡眠・覚醒	講義 質問票配布	プリント配布 自分は毎日どのように寝たり起きたりしているか振り返る

1 1	体の構造・機能とその障害 1 0 高次脳機能	知覚と認知 記憶・言語 大脳半球の機能差	講義 質問票配布	プリント配布 自分が持っている記憶 の種類を分類してみる
1 2	体の構造・機能とその障害 1 1 脳とこころ	情報処理器官としての脳 こころは脳の働き 意識と無意識 こころの科学的治療は可能か	講義 質問票配布	プリント配布 自分の行動の中で意識 を介しているもの、無意 識のものを考えてみる
1 3	現代の医療現場の特徴的な姿 1 明：診断・治療技術の進歩	内視鏡と画像診断 分子生物学的診断法 集学的治療 再生医療	講義 質問票配布	講義（医療の現状の紹 介） 自分や家族がどのよう な医療の恩恵を受けて きたか振り返ってみる
1 4	現代の医療現場の特徴的な姿 2 暗：医療崩壊	医療の偏在・医療過疎 少子高齢化 保険制度崩壊の危機 医療不信・医療訴訟	講義 質問票配布	講義（医療の現状の紹 介） 自分や家族が医療のど のような場面で問題を 感じたか振り返ってみる
1 5	現代の医療現場の特徴的な姿 3 より良い医療を目指して	医療分野の専門家 Evidence-based medicine 医療倫理・情報開示 安全対策	講義 質問票配布	講義と討論（医療のある べき姿） 理想的な医療と現実と のギャップを考察して みる
1 6	期末試験			

#### 4. 評価方法

期末試験 80%

質問・意見票の内容、出席の状況 20%

※原則として遅刻は出席として扱わない。

#### 5. 教科書

書名 『食を拒む・食に溺れる心』

著者名 香山雪彦

発行所 思想の科学社

価格 2,000 円＋税

#### 6. 参考図書

書名 『病棟で働く人のための生理学』

著者名 香山雪彦・前川剛志

発行所 学研メディカル秀潤社

価格 3,000 円＋税

## □□□精神保健□□□

（保育科第一部と同時開講）

授業形態 講義  
 単位数 2単位  
 開講期 前期  
 授業回数 15回  
 卒業 選択

兼担教授 か やま ゆき ひこ  
香 山 雪 彦

### 1. 授業概要

私たちが生きているこの現代社会では、すべての人が強いストレスにさらされて生きている。それを私は「不安の時代」と表現している。こうすれば無事に生きていけるという道が見えにくい時代なのである。そのように大人たちがストレスにさらされている中で、子どももまたストレスから十分に守ってもらえず、さまざまな苦しさを背負い込むことになり得る。その中で、いかにして「こころ」を健康な状態に保つかは、その人の人生の幸福度を決めるであろう。

精神保健とは、まさにその健康を保つ方策を追求する分野である。そのためには、不幸にして不健康な状態に陥った状態のことをよく知ることも必要である。この授業では、精神保健全般に目を配りながら、子どもたちに関わる保育士として心に置いておくべきことに特に重点を置いて、どのようにすれば子どもたちが健やかに育ててもらえるか、そしてそれとともに自分もまた幸福になれるか、私が得てきたものを示しながら一緒に考えていきたい。

### 2. 目 標

上記の必要な知識の習得だけに終わらず、現在の社会で問題となっている精神保健の状況について、どのようなところがうまくいっておらず、その原因はどこにあり、どのようなことが望まれ、そこで自分たちは何ができるか、といったことを考える態度を養うことを目指す。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容		授業方法 ・教材	授業時間外の必要な学修
1	こころとからだ： 例えば「食べる」ことに現れること	摂食の調節 ヒトと他の動物とに違い 生活習慣病 摂食障害	講義 質問票配布	プリント配布 自分の食生活を振り返ってみること
2	脳と神経細胞の基本的な知識と脳の発達過程	神経細胞（ニューロン） 活動電位とシナプス伝達 脳の構造と機能 幼児期の可塑的变化と臨界期	講義 質問票配布	プリント配布 自分の行動がどのように制御されているか考えてみる
3	自律神経系・内分泌系とストレス	交感神経系と副交感神経系 ホルモンとは ストレスとは何か 体の反応	講義 質問票配布	プリント配布 ストレスによる自分の体の反応を思い浮かべてみる

4	精神障害1 精神疾患は医学の対象か	幻覚や妄想 統合失調症 なぜヒトは狂うのか こころの理論	講義 質問票配布	プリント配布 ヒトと他の動物との 違いを考えてみる
5	精神障害2 こころに不安をかかえる	躁うつ病 不安障害 心身症 精神療法と薬物療法	講義 質問票配布	プリント配布 自分が不安に襲われ たらどうするか考え ておく
6	精神障害3 こころの傷が起こすこと	トラウマ記憶 パーソナリティ障害 依存症と嗜癖行動 どう対応するか	講義 質問票配布	プリント配布 そのような友達が身 近にいたらどうす るか考える
7	精神障害4 知的障害・発達障害	精神遅滞 広汎性発達障害・自閉症 ADHD 親の育て方の問題か？	講義 質問票配布	プリント配布 ちょっと変わった人 とどう付き合うか考 えてみる
8	乳幼児期の親子の愛着と 親の仕事	甘えの構造 子どもを愛する 子どもに社会の掟を教え る 子どもと別れる	講義 質問票配布	プリント配布 自分の親子関係を振 り返ってみる
9	児童虐待とはどのような ものでなぜ起こるのか	虐待とは 世代連鎖 どのように防ぐか 児童相談所などの仕事	講義 質問票配布	プリント配布 自分の子どもをどう 育てるべきか考え てみる
10	学齢期に起こりやすい問 題	いじめはなぜ起こる いじめによる自殺 不登校 先生たちの困難な状況	講義 質問票配布	プリント配布 自分の小学校時代を 振り返ってみる
11	思春期に何が起こるか 性衝動と独立の欲求	思春期 14歳の危機 性的な関係への傾斜 独立戦争 少年非行	講義 質問票配布	プリント配布 自分の中学校・高校時 代を振り返ってみる
12	大人の年代になっても 引きずり続ける思春期	引きこもりの高齢化 摂食障害の高齢化 その人たちのかかえる不 安 出口は成長・成熟	講義 質問票配布	プリント配布 周りの人たちと本当 の心を交わせるか考 えてみる
13	現代の文化・環境の中での 家族関係を考える	地域社会の崩壊 頼れるものは家族しか ない？ 家族の密着と崩壊 この時代の家族関係と は？	講義 質問票配布	プリント配布 自分が付き合う人と どんな家族を作るか 想像してみる
14	小児精神保健のための 社会システムと保育の役 割	少子高齢化 子育て支援 児童福祉施設 地域精神保健活動	講義 質問票配布	プリント配布 身のまわりにどのよ うな社会資源がある か考えておく
15	この不安の時代をどう生 きるかみんなで考えよう	このコースのまとめ 討論会	講義 質問票配布	自分の生きてい く道を考えてみ る
16	期末試験			

\* 各回の講義に疑問の残った人には質問票を提出してもらい、次回の講義でそれに答えるよう

にしたい。また、最後の数回の講義については、質問よりも学生諸君の意見を提出してもらい、それについて最後の授業時間に討論をと考えている。

#### 4. 評価方法

試験の成績に、質問・意見表の内容の適切性や出席の状況による判断を加えて評価する。職に就いたときには約束の時刻を守らないと信頼を得られないから、原則として遅刻は出席として扱わない。

#### 5. 教科書

書名 『あたらしい精神保健』  
著者名 十束支朗・生地 新・森岡由起子  
発行所 医学出版社  
価格 2,100 円

#### 6. 参考図書

書名 『食を拒む・食に溺れる心』  
著者名 香山雪彦  
発行所 思想の科学社  
価格 2,100 円

## □□□課題研究□□□

授業形態 演習  
 単位数 2単位  
 開講期 通年  
 授業回数 30回  
 卒業 選択

教授 さとうあつこ  
 佐藤敦子  
 (日本音楽療法学会認定 音楽療法士)

### 1. 授業概要

音楽療法に関する科目、または関連科目の中から、各自研究したいテーマを1つ取り上げ、レポートを提出する。

※他学科または単位相互協定校の科目履修も可。

### 2. 目 標

音楽療法に関する内容、または関連科目、医学、心理学、福祉、教育の分野から1つ課題を選び、研修しレポートを提出する。音楽療法への考察を深める。

### 3. 授業内容

回数	授 業 内 容	授業方法・教材	授業時間外の必要な学修
1	オリエンテーション		音楽療法の効果について調べておく
2	課題の説明、テーマ決定	プリント配布	音楽療法の実践について調べておく
3	課題の説明、テーマ決定	プリント配布	音楽療法の歴史について調べておく
4	課題の説明、テーマ決定	プリント配布	音楽療法の対象者について調べておく
5	テーマ決定と研究	自己研究	音楽療法の効果について調べておく
6	テーマ決定と研究	自己研究	音楽療法の効果について調べておく
7	テーマ決定と研究	自己研究	自分の研究テーマについて考える
8	テーマ決定と研究	自己研究	自分の研究テーマについて考える
9	テーマ決定と研究	自己研究	自分の研究テーマについて考える
10	テーマ決定と研究	自己研究	次回の中間報告の練習をする
11	中間報告		
12	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく

13	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく
14	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく
15	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく
16	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく
17	テーマ研究	自己研究	自己の研究テーマについて論点を絞っていく
18	テーマ研究	自己研究	第2回報告に向けてまとめる
19	テーマ研究	自己研究	第2回報告に向けてまとめる
20	報告		
21	テーマ研究	自己研究	自己テーマの考察を深める
22	テーマ研究	自己研究	自己テーマの考察を深める
23	テーマ研究	自己研究	自己テーマの考察を深める
24	第1回提出	提出	
25	手直し	自己研究	最終提出に向けてまとめる
26	手直し	自己研究	最終提出に向けてまとめる
27	手直し	自己研究	最終提出に向けてまとめる
28	第2回提出	提出	
29	研究発表	発表	
30	研究発表	発表	

※随時担当教員を積極的に訪れ、アドバイスを受けること。

#### 4. 評価方法

レポートの内容60%

発表時の態度20%（セッションを行わない場合には、10点減点する）

レポート研究への意欲20%（積極的に担当教員を訪れない場合には単位を認定しない）

#### 5. 教科書

その都度プリント配布